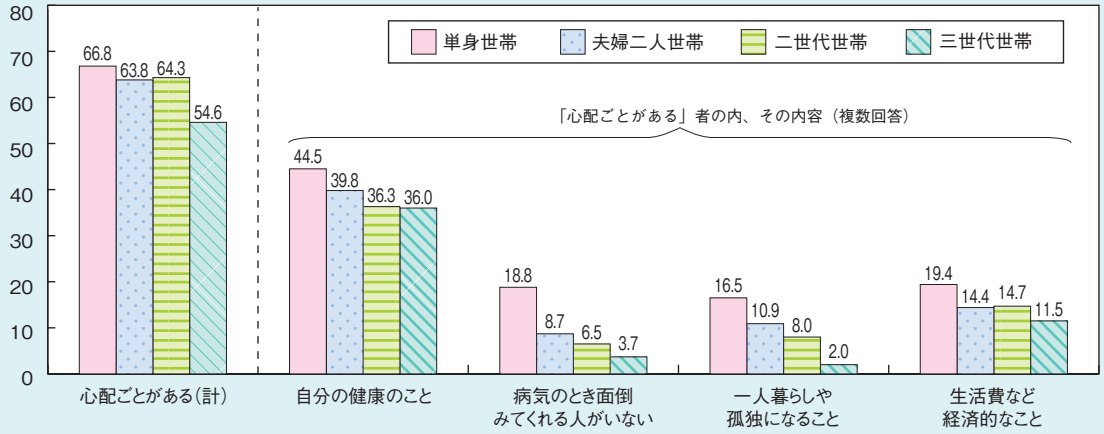
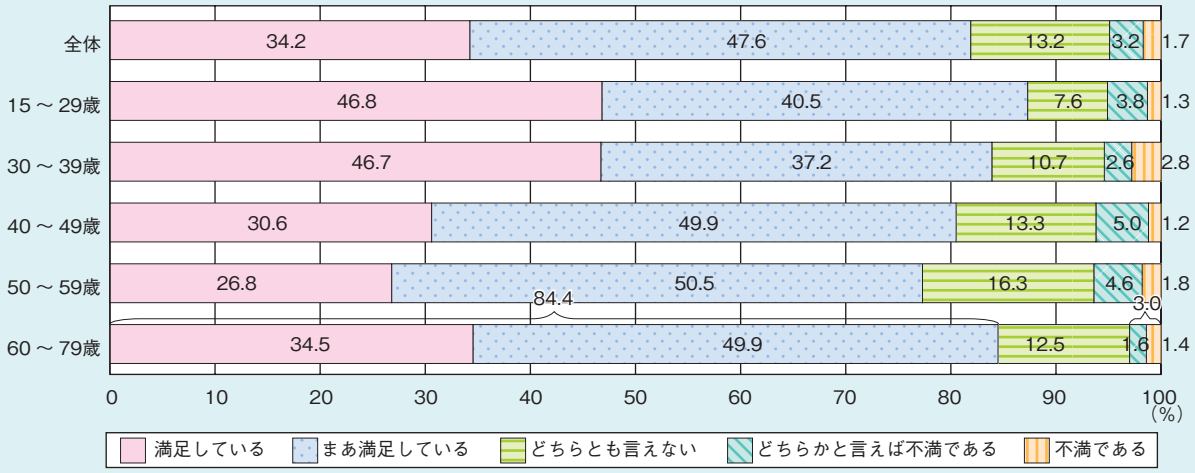
図１－２－１－11　同居形態別にみた心配ごとや悩みごと



資料：内閣府「高齢者の地域社会への参加に関する意識調査」（平成20年）
（注）調査対象は、全国60歳以上の男女

図１－２－１－12　年齢階級別の夫婦関係の満足度



資料：内閣府「国民生活選好度調査」（平成18年）

（４）高齢者の夫婦関係の満足度は高い

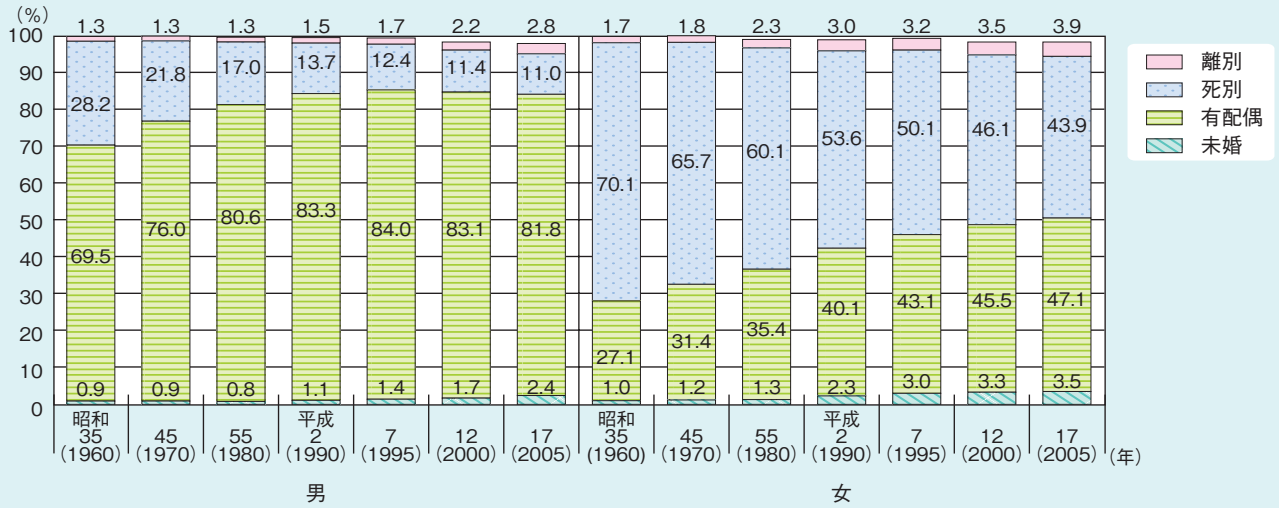
三世代世帯の割合が低下する中で、夫婦のみの世帯で暮らす高齢者が増加している。

以下では高齢者の夫婦関係についてみてみよう。夫婦関係の満足度を尋ねたところ、60～79歳の高齢者において、満足している（「満足している」と「まあ満足している」の合計）と回答した人の割合が84.4％となっている一方、不満である（「不満である」と「どちらかと言えば不満である」の合計）と回答した人は3.0％にとどまっている（図１－２－１－12）。

（５）配偶者の有無をみると、配偶者と死別した割合は女性が男性の４倍にのぼる

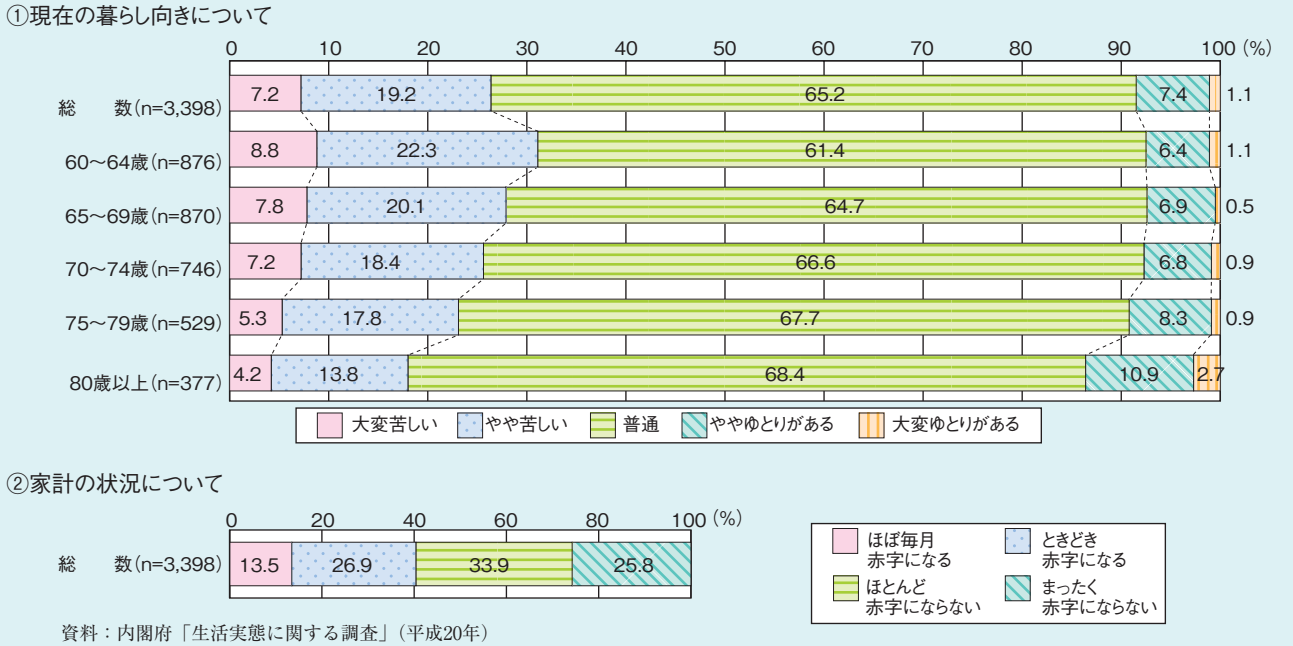
65歳以上の高齢者の配偶関係についてみると、平成17（2005）年における有配偶率は、男性81.8％に対し、女性は47.1％である。女性高齢者の約２人に１人が配偶者なしとなっているが、その割合は低下傾向にある。また、未婚率は、男性2.4％、女性3.5％、離別率は男性2.8％、女性3.9％と共に上昇傾向となっている（図１－２－１－13）。

図１－２－１－13　配偶関係別にみた高齢者の割合



資料：総務省「国勢調査」
（注）「配偶関係不詳」は省略した。

図１－２－２－１　高齢者の暮らし向き



資料：内閣府「生活実態に関する調査」（平成20年）
（注）調査対象は、全国60歳以上の男女

2　高齢者の経済状況

（1）暮らし向きについて、高齢になるほど苦しいと感じている高齢者は減少

高齢者の暮らし向きについてみると、「苦しい」（「大変苦しい」と「やや苦しい」の計）と感じている者の割合は全体で26.4％であり、高齢になるほど「苦しい」と感じる人は減少する。

また、家計の状況をみると「赤字になる（「ほぼ毎月赤字になる」と「ときどき赤字になる」の計）」と回答した者の割合も約４割（40.4％）であった（図１－２－２－１）。

（2）高齢者世帯は、世帯人員一人当たりの年間所得が全世帯平均と大きな差はなく、６割の世帯は所得が公的年金・恩給のみ

高齢者世帯（65歳以上の者のみで構成するか、又はこれに18歳未満の未婚の者が加わった世